

Handsome

February 2014 No.303

「人こそ最大の財産」
Positive Forward
自ら進んで、歩を踏み出す
実行力

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 渡辺一徳
◆編集責任者/担当 副会長 福庭貴志 ◆制作・編集 第39期広報委員会/委員長 生田育永

1月新年例会開催

平成26年1月15日(水)、総務委員会担当の1月新年例会が米子全日空ホテルにて華やかに開催された。現役会員を始め、ご来賓の方々、OB会員の方々からも多数のご出席を賜り、盛大に幕を開けた。



まず、渡辺会長より開会の挨拶があり、「上期の中央会活動を振り返ってみて、会員自ら主役となって行った手作り例会やOBの先輩や外部の有識者の方を講師としてお招きした例会など、様々なスタイルの例会を実施できたことが特に印象に残った。いずれも今年度スローガンである『実行力』の賜物であり、下期も実行力をより一層発揮することで、中央会内外から西部青年中央会が良くなったという声が聞こえてくるよう頑張してほしい」との挨拶があった。

続いて、新入会員バッジ授与が行われ、浜田貴穂会員より、一日でも早く中央会そして地域の発展に貢献していきたいとの力強い挨拶があった。また、緒方恒人会員より第一子誕生との嬉しい報告があった。ご来賓の方やOB会員の方からも貴重なご挨拶を頂戴し、林昭男・鳥取県副知事からは「今年も引き続き地域貢献活動に取り組み、西部青年中央会の若い力で盛り上げてほしい」と、会員への暖かいエールを頂いた。また、宇佐見明・OB会会長より、昨年の流行語大賞を受賞した言葉を

使ったご挨拶を賜り、会場は大いに盛り上がった。



その後、鏡開きによって華々しく乾杯が行われ、賑やかに新年例会がスタートした。現役会員は普段なかなかお会いできないご来賓の方々やOB会員の先輩方との交流に心を弾ませ、歓談にも大いに花が咲いた。



新年例会恒例のアトラクションでは、計13名の今期新入会員が「中央会よさこい踊り」を披露し、これまで積み重ねた練習の成果を存分に発揮した。また、多方面で活躍中のプロフェッショナル芸能集団「和



楽衣箱」の方々をお招きし、様々な演目をご披露して頂いた。「南京玉すだれ」、「ぶちあわせ太鼓」等々、各演目で繰り出される卓越した演技の前に観客一同度肝を抜かれ、演技終了後は会場全体が大きな拍手に包まれた。

最後に野坂康夫・米子市長によるご挨拶の後、万歳三唱をもって中締めとなったが、その後も多くの方が二次会会場へと足を運び、現役会員はOB会員の先輩方との友愛をより一層深めることができた。

(記事:小林)

例会を終えて… 総務委員会 委員長 本田 繁



皆様のおかげで1月新年例会を滞りなく終えることができました。新年例会の取り組みとして連携の取れた例会運営を図るために全体統括のプロジェクトリーダーを野口(健)会員、サブリーダーを今川会員・北島会員、新入会員リーダーを村田会員に努めて頂きました。

新年例会の演出・アトラクションでは、まず、当会40周年を迎える節目の年となることから、松田実行委員長をはじめとした実行委員会メンバーより記念事業について熱のこもった事業計画PRがありました。

続いて新入会員による「中央会よさこい」は、年末年始と多忙のなか練習を重ねた踊りでは一体感と躍動感あふれる素晴らしいアトラクションでした。トリは地元で活躍中の芸能集団「和楽衣箱～waraiyako～」様です。観客を惹きつける華やかな演目で、その場にいた全員が魅了されてしまいました。

最後に新入会員の皆さんをはじめ、御協力いただきました皆様に御礼申し上げます。誠に有難う御座いました。

平成25年度 新入会員オリエンテーション開催

平成26年1月30日(木)米子コンベンションセンター第1会議室において、幹事委員会による新入会員オリエンテーションが開催された。



今回のオリエンテーションは、平成25年5月から平成26年1月までに入会した新入会員を対象としたものである。ちなみに、「オリエンテーション」の意味を辞書で調べてみると、英語でorientationと書き、「東洋」という意味のオリエン(orient:日が昇るところ)と同じ仲間の言葉らしい。そこで、今後の西部青年中央会を担う新入会員が当会の歴史・組織・活動等を正しく学び、今後の活動にて大活躍するべく、幹事委員会のメンバーが精魂込めて中央会活動の説明を行うこととなった。

当日は例会と同じく、綱領唱和から始まり、まず渡辺会長より「新入会員の皆さんは、今日は頭で学ぶ中央会ですが、2月以降は体で学ぶ中央会を実践して下さい。私も15年前にオリエンテーションを受けましたが、その時の資料がずっと頭に残っています。今後10年、15年の会員もおられると思うので、今日の資料はなくさずにしっかり持っておいて下さい」と挨拶があり、

今期のスローガンに関して、中央会は実践・実行の連続の場であり、その中心となるのが「人・会員」である旨の説明があった。そして、幹事委員会の先輩会員が各パートごとに説明を行い、まず最初に、①西部青年中央会の位置づけと組織について説明があった。次に足立支所長より②共済について説明を頂き、順次、③年間活動内容・関連団体、④OB会との関係、⑤皆生トリアスロンと西部青年中央会の関わり、⑥西部青年中央会の選挙活動に関する方針、⑦ホームページ、広報誌ハンサム、⑧周年事業について説明があり、新入会員は真剣な眼差しで聞き入っていた。

質疑応答の後、河津直前会長より「中央会でいろいろな方と話すとお互いに刺激になって勉強になる。今年は40周年があるので、その活動を通じて多くのOBの方やいろいろな人に顔と名前を覚えてもらえる。活動すれば必ず何かを得られますので、しっかりと頑張ってください」との総評があった。

その後、参加者全員で句門に移動し、「熱く語る！中央会と私」と題して、先輩会員が自らの経験を披露した。心で学ぶ中央会に参加した新入会員は、最後に自己紹介を行い、それぞれ思いを新たに帰路に着いた。

(記事:荒川)



イベント突撃
レポート!
No. 1

新年恒例の寒中水泳大会



1月13日(月)米子市の皆生海岸にて開催された鳥取県トリアスロン協会などによる新年恒例の寒中水泳大会に、広報委員会の有志で参加してきました。

この寒中水泳の目的は、今年1年の活躍や健康を祈願するということらしいですが、当日の朝は、白いみぞれと冷たい雨が交互に降り注ぎ、海に入る前から身体がブルブル震えておりました。しかも波は大荒れ。まさに冬の日本海です。こういった絶好の寒中水泳日和の中で、大勢の人が会場に集まっていました。

開会式では、鳥取県トリアスロン協会の野嶋功事務局長が、「今年1年元気に過ごせるよう泳ごう」と激励され、気温3℃、水温10℃という状況の説明もありました。

その後、海岸清掃をし、ウォーミングアップのため、ちょっとしたランニングをした後(この段階で息が上がっていた一部の会員もいました)、それぞれが着替えようとしたとき、生田委員長がおもむろに衣装を出してきて、「これに着替えてください」と、一言。それは、1枚の白いTシャツに、1枚の白いブリーフで、1枚1枚に直筆で文字が書いてあるものでした。会員全員がその衣装に着替え終わって、戦闘準備も完了し、通常の海水パンツ等よりも、なんだか身が引き締まる思いがしました。そして、海岸にて記念撮影をしていると、近くを通ったひとが、「へー、中央会40周年ですか。おめでとうございます」と、お声をかけていただきました。

「エイ、エイ、オー」の掛け声とともに、いざ入水。入った瞬間、冷たい感覚というより、どちらかというと肌を刺されるような痛いという感覚のほうが強かった気がします。さすがに長時間入っていることもできず、数分間入ってすぐにあがりました。

海岸の砂浜には、はわい温泉と皆生温泉の源泉を使った簡易露天風呂が用意されており、海から上がってすぐにそこへ駆け込み、体を温め、会場で用意されていた特製豚汁でさらにまた体を温めました。

今回は人生初の寒中水泳を体験したわけですが、非常に貴重な体験でした。今年1年、健康に頑張っていけそうな気がしましたし、また、中央会40周年のアピールも十分できたと思います。こういったことをまた何かの形で今後の活動に生かしていきたいと思っています。

(記事:石原)



趣味



「言う」言う

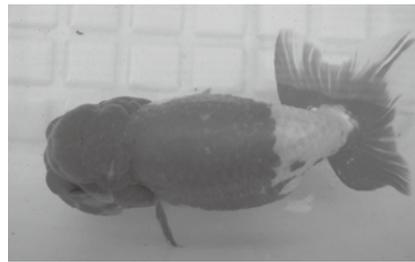


三鴨の「伝統的遺伝子の継承」

毎年10月の第1日曜日には、たとえ家族が遊びに連れて行くと駄々をこねても譲れない予定が入っている。ランチュウ品評会の日である。山陰両県の愛好家が、その年の自信作を持ち寄り、優等・一等・二等・三等・選外が審査される。

ランチュウとは、金魚の一種。江戸時代に和金を改良した国産品種であり、『究極の金魚』と呼ばれている。背びれが無く丸みを帯びた胴に艶やかな尾ビレを持ち、頭部の発達した肉瘤が美しく、多くの愛好家を魅了している。

花見の季節に1年が始まる。思惑通りに遺伝することを期待し、ペアを決める。エゴイズムの政略結婚である。水温が上がるG.W.の産卵を目指し、産卵用に整えた池に移すと明け方に産卵が始まり、約2000個の卵を産み付ける。それからは、餌やり・水換え・選別の日々が品評会当日まで続く。情を捨て選別し、最終的には20匹程度を残す。品評会に出品できるのは、更にその内の5匹。400分の1の狭き門を通り抜けたスーパーエリートである。のはずである。



それでも品評会では、なかなか選ばれない。これまで3等しか受賞したことがなく、5度目となる今回は、審査員でもある師匠に「今年は良い出来だね」と言われ、意気揚々と出品したが、やはり3等。まだまだ壁は高い。

品評会は、会員同士が切磋琢磨し改良を進め、より良いランチュウを作り上げるための場であり、世界に誇るこの品種を将来に繋げるためにある。いつの日か、優等の席に我が子が選ばれる事を目標に精進したい。

OB訪問 探偵！TSCスクープ

門脇浩二OB (第28期卒) を訪ねて



今月は、第28期会長を務められた「有限会社べこ会・アンド・まるせい」代表取締役 門脇浩二OBを訪問し、中央会時代の思い出、仕事について、現役会員へのメッセージ等、大変貴重なお話を伺うことができました。その中

で、新入会員である私が特に感銘を受けたのが、門脇OBの中央会生活についてのお話でした。

中央会の会長に加えて、青経連のトップまで務められた門脇OBですが、入会当初は「不良会員」と思われていたと

のことです。そこから、本音で腹を割って話ができる、またお互いに刺激し合う一生の仲間ができ、人柄が認められ、会長まで務められました。

「当時を振り返って、中央会での思い出はたくさんあるけれども、良い経験をした思い出が浮かんでこない」と語る門脇OBの目は、とても輝いていました。特に、旧米子市と旧淀江町との合併協議会に参加した3年間については、「人間として大きく成長した」と、特に印象深い経験として語って下さいました。

「中央会の中で、本音で腹を割って話ができる仲間を必ず10人は作れ。そいつらが、自分の人生の中で必ず助けになってくれるから！」門脇OBは、最後に現役会員に、この言葉を送って下さいました。中央会活動を通じて、作ることなく自然体の自分をさらけ出し、時に激しく議論し、お酒を酌み交わし夢を語る。その中で一生の仲間ができるのが中央会の魅力であると感じました。

去り際に、「またいつでも寄ってごさないよ！」と言って下さった門脇OB。今後も私たちの良き先輩として、中央会を見守って下さることと思います。

(記事：三鴨 秀)

～卒会者から君たちへ～

長田賢一 会員



平成14年10月に入会してから中央会活動を10年余り過ごして来ましたが、卒会まで残り半年を迎えた私から唯一伝える事が有るとすれば、1つだけ！！『中央会とは今後一生付合っていく親友(何でも相談出来るそして言合える仲間)が作れる場です。』以前不良会員気味に活動をしていた私にもここ何年かで親友が出来たのですから、でも活動に参加しているだけでは駄目でやはり飲みニケーションも必要です。一緒になって学んで・馬鹿やって腹を探るのでは無く腹を割って自分をさらけ出して行くと自然と親しく成って来る物です。また色々な経験をさせて貰う場でもありましたが、その時に支えてくれたのもやはり仲間でした。多く無くてもいいんです一人でも二人でも構いませんからどうか作って下さい。と言うか作れます。

私にとっての中央会とはまさにこれに尽きるものであり、今後何十年と生きて行く中での大切な大きな財産を築く事が出来た場に成りました。今まで私に絡んでくれた会員のみなさん本当に有難うございました。そして今後とも宜しくお願いします。

我が社の看板娘



ガイナレ鳥取 (ガイナレオフィシャルグッズショップ GOGS店長)

〒683-0846 鳥取県米子市安倍1-1 (チュウブYAJINスタジアム)
<http://www.gainare.co.jp/>

4/29(火・祝)13:00 kickoff @チュウブYAJINスタジアム ガイナレ鳥取 VS FC町田ゼルビア

- ①中村千品 33歳/②2年目/③読書/④納豆/⑤包容力のある人
- ⑥2014シーズンもご声援よろしくお祈りします!

ホームゲーム会場でお待ちしてます★

※①名前 年齢/②勤続年数/③趣味/④好きな食べ物/⑤好きな男性のタイプ/⑥一言

～広報委員会 藤本満梨子会長より～

昨年は応援していただいた皆様のご期待に沿えず、大変申し訳なく思っております。今年度は選手・スタッフ一同2月に震れるよう、必死になつてがんばりますので、今後ともご声援をお願いいたします。今年度は3月9日に開幕します。米子のチュウブYAJINスタジアムでも公式戦を開催しますので、ぜひ一度スタジアムに遊びにお越しください。

40周年記念事業委員会

皆さんこんにちは。40周年実行委員長を務めさせて頂いております。松田で御座います。

年も明け、いよいよ、40周年事業の各種行事が行われる1年が始まりました。昨年度40周年事業準備委員会より引き継いで以来、委員会メンバー・各部のメンバーの皆さまには何度も何度も時間を割いて頂き、本当に感謝申し上げます。

今後は、5月のゴルフコンペ、6月の40周年プレイイベント、7月の記念式典当日まで、中央会メンバーが一つになり「成功」に導くのみ、と感じております。「成功」と簡単に申し上げましたが、この「成功」とは何であるか？それは、中央会現役メンバー1名も欠ける事無く、この40周年事業に、何かしらの形で係わり、全員で成しえて行く！これこそが「成功」と思っております。

テーマを「前進」と掲げ、この先へと続く中央会の未来を見据えた事業にして行きたいと思っております。

最後に現役・OB会員の皆さまにおかれましては、更なるご支援・ご協力をお願い致しまして、意気込みと代えさせていただきます。残り半年、楽しみましょう！宜しくお願い致します！

(40周年実行委員長 松田幸紀)

1月度委員会報告

絆委員会

平成26年1月9日(木) 18:30～ 場所:米子コンベンションセンター第1会議室
 議題/・役員会報告 ・新入会員オリエンテーションについて
 ・3月担当例会について ・その他

ビジネス経営委員会

平成26年1月9日(木) 19:00～ 場所:ホテルアクセス
 議題/・役員会報告 ・松江・安来YEG交流事業反省会
 ・2月例会について ・会員拡大について ・その他

政治行政委員会

平成26年1月10日(金) 19:00～ 場所:米子コンベンションセンター第2会議室B
 議題/・役員会報告 ・会員拡大について
 ・今後の活動について各チーム発表 ・その他

広報委員会

平成26年1月9日(木) 19:00～ 場所:焼肉うえば
 議題/・役員会報告 ・ハンサム303号について
 ・会員拡大について ・下期スケジュールについて
 ・その他

総務委員会

平成26年1月10日(金) 19:00～ 場所:ホテルアクセス
 議題/・役員会報告 ・新年例会について
 ・会員拡大について ・その他

40周年記念事業委員会

平成26年1月9日(木) 19:00～ 場所:旬門 米子店
 議題/・役員会報告 ・40周年事業について
 ・会員拡大について ・その他

新入会員

(総務委員会)		はま だ たか ひと 濱田 貴 穂	A型
		備前こめや産業	専務取締役
		食品製造業	
		〒684-0071 境港市外江町3175-4	
		TEL 42-6620 FAX 44-0277	
	H26.01(125年度)入会 (推薦者) 千石(正) 三鴨(真)	(KT) 090-3639-8748 (EM) nonoko@ms11.megaegg.ne.jp	S48.04生

〈コメント〉

1月より入会させて頂きました、(備)こめや産業の濱田貴穂と申します。境港で食品の製造販売を行っております。まだまだ若輩者ではありますが、先輩方の良いところを真似ながら、自分自身少しでも成長できればと思っています。何卒宜しくお願い致します。

2月役員会報告

2月役員会が平成26年2月3日(月)米子コンベンションセンターにて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・1月例会開催報告の件
- ・2月例会開催の件
- ・その他

*なお、詳細につきましては、各委員長までご確認下さい。

2月オープン例会のご案内

と き:平成26年2月17日(水) 18:30～20:50
 ところ:米子市福祉保健総合センターふれあいの里 1F大会議室内
 内容:講演『地域活性』

～エコツーリズムから地域づくりを考える～
 講師:株式会社モンベル 代表取締役社長 辰野 勇氏
 担 当:第39期ビジネス経営委員会

平成26年度会員手帳記載事項調査ご協力をお願い

第39期広報委員会より、平成26年度会員手帳記載事項調査についてご連絡致します。現役会員・OB会員の皆様には2月のハンサム送付便に、「平成26年度会員手帳作成についてのご連絡」A4版1枚の調査書を同封させて頂きました。締め切りは3月26日とさせて頂いております。ご返信は中央会事務局(0859-34-6441)までFAXでお送り下さい。ご協力の程をよろしくお願い致します。

編集後記

ゴルフコンペまであと3ヶ月……。ゴルフ経験ゼロの私は、打ちっぱなし&DVD教材で只今勉強中。その名も『脱!手打ち』。練習すればするほど、コンペ当日の自分の姿が恐ろしい今日この頃でございます。みなさんも練習していますか!?
 (吉田)